

地域発
元気印!



絶好のロケーションでウォーキングを楽しめる

鳥取県湯梨浜町の地域資源「東郷湖」プロジェクト ゆりはまWalking Resort

中小機構
独立行政法人 中小企業基盤整備機構

中小企業の取り組みをサポート 観光事業の支援で地域活性化へ

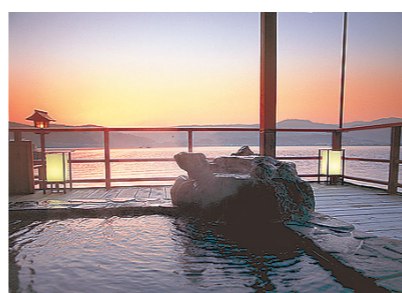
中小企業基盤整備機構(東京都)は、地域資源を活用した事業に取り組む中小企業を支援しています。2016年2月、鳥取県湯梨浜町の事業者4社が申請した「ゆりはまWalking Resort」が国の地域産業資源活用事業計画に認定されました。4社をサポートする同機構中国本部(広島市中区)連携推進課チーフアドバイザーの今若明さんに、事業の内容や展開を聞きました。



中小機構中国本部
連携推進課 チーフアドバイザー
今若明さん

鳥取県湯梨浜町にある東郷湖を舞台に、地域が主体となって観光客を呼び込む「着地型観光」の商品開発や販路開拓を進める事業です。東郷湖周辺の魅力を生かしたプロモーションを展開することで、地元中小企業を元気にし、地域全体の活性化につなげようという狙いです。昨年、湖の周辺にある温泉旅館2軒とパン店、カフェなどの異業種4社が連携して国の地域産業資源活用事業計画の認定を受けました。期間は20年まで。継続的に取り組み、着地型観光の定着を目指します。

品ではなく、連携した独自のプランにしようという計画です。例えば、ウォーキングをメインに足湯や、カヌー、パドルをこいで進むスタンドアップパドルボード(SUP)、パンづくりなどの体験を組み合わせていきます。歩くのに疲れたら自転車や屋形船クルーズの利用もできます。また、体を動かした後は温泉でくつろげるなど、ここでしか体験できない付加価値のある商品を生み出したいと考えています。



はわい温泉

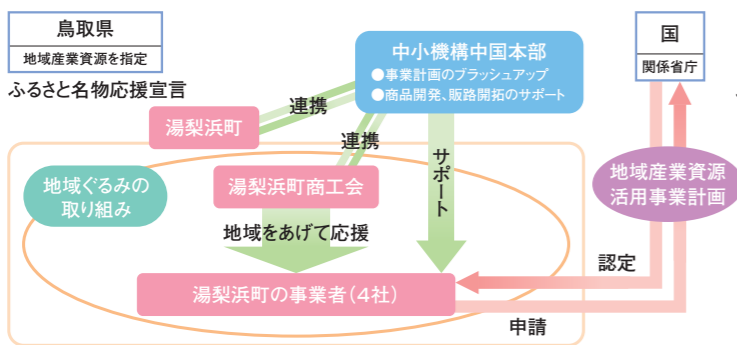
事業者へどのような支援を行っていますか。

事業計画づくりをはじめ、商品力やブランド力向上のためのアドバイスをしています。法認定に向けてスタートしたときから常に心掛けているのは、各事業者に共通認識を持つてもらい連携を取りたいことです。4社は、湖上露天風呂を持つ大規模旅館やウォーキング指導者がいる旅館、二十世紀梨を使ったパン店、ウォーキング装備の貸し出しができるカフェなどそれぞれ異なる特長を持っています。連携することで新たなアイデアが生まれ、集客を増やす仕組みづくりにつながると考えています。

自治体や地元支援機関との関わりと今後の

中小機構とは

中小機構は経済産業省所管の独立行政法人で正式名称を中小企業基盤整備機構という。中国本部など全国10カ所に地域本部を置き、中小企業施策の総合的な実施機関として役割を果たしている。



企画・制作 中国新聞社広告局

中小機構 中国本部
独立行政法人 中小企業基盤整備機構

<http://www.smrj.go.jp/chugoku/>
TEL082-502-6300(代表) TEL082-502-6689(連携推進課)
〒730-0013 広島市中区八丁堀5-7 広島KSビル3F

がんばる中小企業「経営相談ホットライン」
TEL0570-009111(受付時間 平日9時~17時)
※通話料は発信者の負担となります。※携帯電話、PHS、IP電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話からはご利用できません。

J-Net21 中小企業ビジネス支援サイト
<http://j-net21.smrj.go.jp/>